



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルメディオ

コード番号 7859 URL <http://www.almedio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高橋 靖

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 企画・総務・経理担当

(氏名) 井野 博之

TEL 042-397-1780

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	2,543	98.4	83	—	70	—	△93	—
26年3月期第3四半期	1,282	△18.7	△243	—	△213	—	△310	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △76百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 △259百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△12.63	—
26年3月期第3四半期	△65.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	3,619	73.0	2,644	73.0	2,644	73.0
26年3月期	2,863	80.5	2,308	80.5	2,308	80.5

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 2,642百万円 26年3月期 2,306百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,363	77.8	60	—	13	—	△136	—	△17.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	9,192,316 株	26年3月期	5,225,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	455,370 株	26年3月期	455,370 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	7,386,226 株	26年3月期3Q	4,769,630 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※四半期決算補足説明資料関係

・当該補足説明資料は、Financial Data Bookとして当社ウェブサイト(<http://www.almedio.co.jp>)のIRニュースに掲載いたします。Financial Data Bookには、製品別売上高ほか業績推移等をまとめております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の低迷や原材料等の価格上昇による影響が懸念されたものの、政府の経済政策や日銀による追加金融緩和策を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

一方、世界経済は、米国で堅調な成長が見られましたが、欧州経済のデフレ懸念や新興国の減速、中国経済の成長率鈍化等があり、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループの関連する情報家電業界は、カーオーディオ・カーナビ等の車載機器は、米国を中心とした海外での自動車需要が拡大基調となったため堅調に推移しましたが、AV機器向けの需要は、新興国での成長が鈍化しており、引き続き厳しい状況で推移しました。

音楽映像業界は、配信サービスへと移行が進み、発売タイトル数も伸びず、光ディスクの販売枚数は微減が続きました。

断熱材事業に関する各種工業炉用炉材の関連市場は、産業炉関連メーカーの設備投資が回復傾向となり、海外を中心に需要が増加しました。中国では、中国国内の太陽光発電向けの炉材需要が引き続き堅調に推移しました。

デジタルアーカイブ市場は、企業活動によって得られた過去の蓄積データの活用と長期保存する必要性が高まっており、保存性や信頼性、更に保守費用が抑制できる光ディスクによるデジタルアーカイブは、今後普及の拡大が見込まれます。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高25億43百万円（前年同四半期比98.4%増）、営業利益83百万円、経常利益70百万円、四半期純損失93百万円となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、アーカイブ事業部を編成し本格展開を始めたことにより、「アーカイブ事業」セグメントを新設し、その他事業につきましては、重要性が低いことから「アーカイブ事業」セグメントに含めております。

また、第2四半期連結会計期間より、ティアック株式会社から譲受したストレージデバイス事業を「アーカイブ事業」に含め、「ストレージソリューション」として活動を開始しております。

テストメディア事業

当事業は、オーディオ・ビデオ機器やコンピュータ周辺機器等の規準及び調整用テストディスク等の開発・製造・販売を行う「テストメディア」と、DVDペリフィケーションラボラトリ及びBDテストセンターとしての認証テスト及び各種ディスクの特性テスト受託等を行う「テストング」が含まれます。

テストメディアは、車載機器向けの需要は、米国を中心とした海外市場の自動車需要が引き続き好調だったため、堅調に推移しました。次世代ゲーム機の需要は、発売開始から時間が経過したため、需要に落ち着きが見られました。AV機器向け需要は、引き続き市場全体の低迷が続き、売上は前年同四半期を下回りました。

テストングは、ハード機器関連の評価受託などテストアイテムの拡充を図りながらサービス展開しましたが、売上は前年同四半期とほぼ横ばいの結果となりました。

以上により、テストメディア事業の売上高は3億50百万円（前年同四半期比16.8%減）となりました。

クリエイティブメディア事業

当事業は、CD・DVD・BDのOEM製造・販売を行っております。

クリエイティブメディアは、微減が続く音楽映像市場に対して受注量を確保する活動を行いました。発売タイトル数は伸びず、発注ロット数も少量化しました。一方、音楽映像系以外の未開拓顧客におけるシェア拡大を図りました。その結果、新たな顧客層として獲得した教材や出版市場のシェアを拡大したことにより、売上は前年同四半期を上回りました。

以上により、クリエイティブメディア事業の売上高は5億69百万円（前年同四半期比10.2%増）となりました。

断熱材事業

当事業は、連結子会社・阿爾賽（蘇州）無機材料有限公司において、電子部品用副資材、耐火材料及び関連製品の開発・製造・販売を行っております。

国内では、同社製品を中心とした輸入販売を行っており、顧客ニーズにあった商品を拡充することで、拡販活動を行いました。九州事業所では、産業炉用加熱プラントの受注拡大に取り組みました。その結果、東南アジア向けの輸出案件を中心に主力製品の受注が好調に推移し、売上は前年同四半期を大きく上回りました。

阿爾賽は、太陽光発電用炉材の需要が引き続き高く、主力製品や異形成形品等の受注が堅調に推移し、売上は前年同四半期を大きく上回る推移となりました。

以上により、断熱材事業の売上高は7億73百万円（前年同四半期比132.8%増）となりました。

アーカイブ事業

当事業は、重要な情報を長期に亘って保存及び利用するための長期保存用光ドライブと長期保存用光ディスクの販売を行う「アーカイブ」と、譲受した産業用及びAV機器用光ドライブの開発・製造・販売を行う「ストレージソリューション」が含まれます。

なお、当事業は、第1四半期連結会計期間より事業部を組織して本格展開を始めております。

アーカイブは、長期保存用光ドライブ及び長期保存用光メディアの売上拡大を図りました。また、竣工図書の文書整理から電子化、保管及び文書管理する受託ビジネスに参入し、売上拡大を図りました。

ストレージソリューションは、産業用光ドライブ及びAV機器用光ドライブを8月から国内外取引先へ販売を開始しました。産業機器の更新が計画的に行われ、他社からの切換え採用が獲得できたことで、売上は堅調に推移しました。

以上により、アーカイブ事業の売上高は8億50百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、第2四半期会計期間に譲受したストレージソリューションの棚卸資産及びのれん、受取手形及び売掛金が増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して7億55百万円増加し、36億19百万円となりました。負債は、短期借入金、譲受したストレージソリューションの買掛金が増加したこと等により4億19百万円増加し、9億74百万円となりました。純資産は、四半期純損失の計上及び配当金の支払に伴う利益剰余金の減少があったものの、新株予約権（ライツ・オファリング）の権利行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ増加したことで3億35百万円増加し、26億44百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期における連結業績予想は、平成26年6月30日に公表しました「業績予想の修正及び統合費用の発生に関するお知らせ」に記載の数値から修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,172,357	980,652
受取手形及び売掛金	428,010	947,799
有価証券	50,000	-
商品及び製品	71,203	407,157
仕掛品	72,336	71,983
原材料及び貯蔵品	153,524	172,094
その他	40,955	50,233
貸倒引当金	△72	△72
流動資産合計	1,988,316	2,629,847
固定資産		
有形固定資産		
土地	429,144	429,144
その他(純額)	327,207	331,780
有形固定資産合計	756,352	760,925
無形固定資産		
のれん	-	103,007
その他	7,731	8,653
無形固定資産合計	7,731	111,660
投資その他の資産	110,972	116,738
固定資産合計	875,056	989,324
資産合計	2,863,372	3,619,171

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	106,974	239,066
短期借入金	36,522	355,074
未払法人税等	9,280	7,417
賞与引当金	31,234	22,595
その他	136,139	160,047
流動負債合計	320,150	784,201
固定負債		
退職給付に係る負債	201,368	143,120
その他	33,525	47,541
固定負債合計	234,894	190,662
負債合計	555,045	974,863
純資産の部		
株主資本		
資本金	918,200	1,136,402
資本剰余金	871,580	1,089,782
利益剰余金	771,259	654,152
自己株式	△362,848	△362,848
株主資本合計	2,198,191	2,517,488
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,490	21,437
為替換算調整勘定	92,375	103,112
その他の包括利益累計額合計	107,866	124,549
新株予約権	2,269	2,269
純資産合計	2,308,327	2,644,308
負債純資産合計	2,863,372	3,619,171

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	1,282,227	2,543,322
売上原価	1,016,069	1,801,532
売上総利益	266,158	741,790
販売費及び一般管理費	509,903	657,793
営業利益又は営業損失(△)	△243,745	83,997
営業外収益		
受取利息	3,799	4,004
受取配当金	1,902	2,227
為替差益	26,236	9,081
その他	2,671	4,037
営業外収益合計	34,609	19,349
営業外費用		
支払利息	743	2,128
株式交付費	-	28,527
新株予約権発行費	3,082	-
その他	73	1,857
営業外費用合計	3,899	32,513
経常利益又は経常損失(△)	△213,035	70,834
特別利益		
固定資産売却益	407	8,553
特別利益合計	407	8,553
特別損失		
固定資産売却損	53	-
固定資産除却損	75	992
退職特別加算金	-	128,644
事業構造改善費用	-	11,375
減損損失	19,109	-
厚生年金基金脱退損失	74,270	-
特別損失合計	93,508	141,012
税金等調整前四半期純損失(△)	△306,136	△61,623
法人税、住民税及び事業税	4,149	20,441
法人税等調整額	△15	11,193
法人税等合計	4,133	31,635
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△310,270	△93,259
少数株主利益	-	-
四半期純損失(△)	△310,270	△93,259

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△310,270	△93,259
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	556	5,946
為替換算調整勘定	50,007	10,736
その他の包括利益合計	50,563	16,682
四半期包括利益	△259,707	△76,576
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△259,707	△76,576
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、ライセンス・オフERING（ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て）に基づく新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ218,202千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が1,136,402千円、資本剰余金が1,089,782千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	テストメディア事業	クリエイティブメディア事業	断熱材事業	その他事業	
売上高					
外部顧客への売上高	420,510	516,539	332,258	12,919	1,282,227
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	420,510	516,539	332,258	12,919	1,282,227
セグメント利益又は損失(△)	192,094	△35,710	△69,024	△115,931	△28,571

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△28,571
全社費用(注)	△215,174
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△243,745

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	テストメディア事業	クリエイティブメディア事業	断熱材事業	その他事業		
減損損失	—	—	—	19,109	—	19,109

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	テストメディア事業	クリエイティブメディア事業	断熱材事業	アーカイブ事業	
売上高					
外部顧客への売上高	350,056	569,022	773,343	850,900	2,543,322
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	350,056	569,022	773,343	850,900	2,543,322
セグメント利益又は損失(△)	187,447	△60,753	89,302	85,155	301,151

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	301,151
全社費用(注)	△217,154
四半期連結損益計算書の営業利益	83,997

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、アーカイブ事業部を編成し本格展開を始めたことにより、「アーカイブ事業」セグメントを新設し、その他事業につきましては、重要性が低いことから「アーカイブ事業」セグメントに含めております。

また、第2四半期連結会計期間より、ティアック株式会社から譲受したストレージデバイス事業を「アーカイブ事業」に含め、「ストレージソリューション」として活動を開始しております。

4. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間において、ティアック株式会社からストレージデバイス事業を譲受したことにより、当第3四半期連結会計期間末の「アーカイブ事業」セグメントの資産は852,571千円となりました。

5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。